

株式会社ニッカトー 2020年3月期（第1Q）決算説明資料

目次

1. 中長期的な戦略について
2. 2020年3月期（第1Q）業績概要
3. 2020年3月期業績予想
4. 事業トピックス

目次

1. 中長期的な戦略について
2. 2020年3月期（第1Q）業績概要
3. 2020年3月期業績予想
4. 事業トピックス

中長期的な経営戦略について

当社は得意とする特定分野のセラミックス製品並びに計測機器と加熱装置のリーディングカンパニーを目指しております。

中期経営計画における重点施策について

- ジルコニアボール並びに構造部材及び圧電体・次世代電池向け熱処理道具材の生産能力の増強
- 温室効果ガス排出量の削減等エネルギーの効率的利用と各種部材の生産技術の向上による品質、生産効率の改善による合理化の推進
- マーケットニーズに対応したセラミックス新製品及びエンジニアリング新商品の開発と拡販
- 働き方改革の実現及び中長期的な労働力の確保並びに人材教育の推進
- 内部統制システムの構築に基づくガバナンス強化及びリスク管理の強化や内部監査の充実による管理体制の整備

目次

1. 中長期的な戦略について
- 2. 2020年3月期（第1Q）業績概要**
3. 2020年3月期業績予想
4. 事業トピックス

経営成績の概要

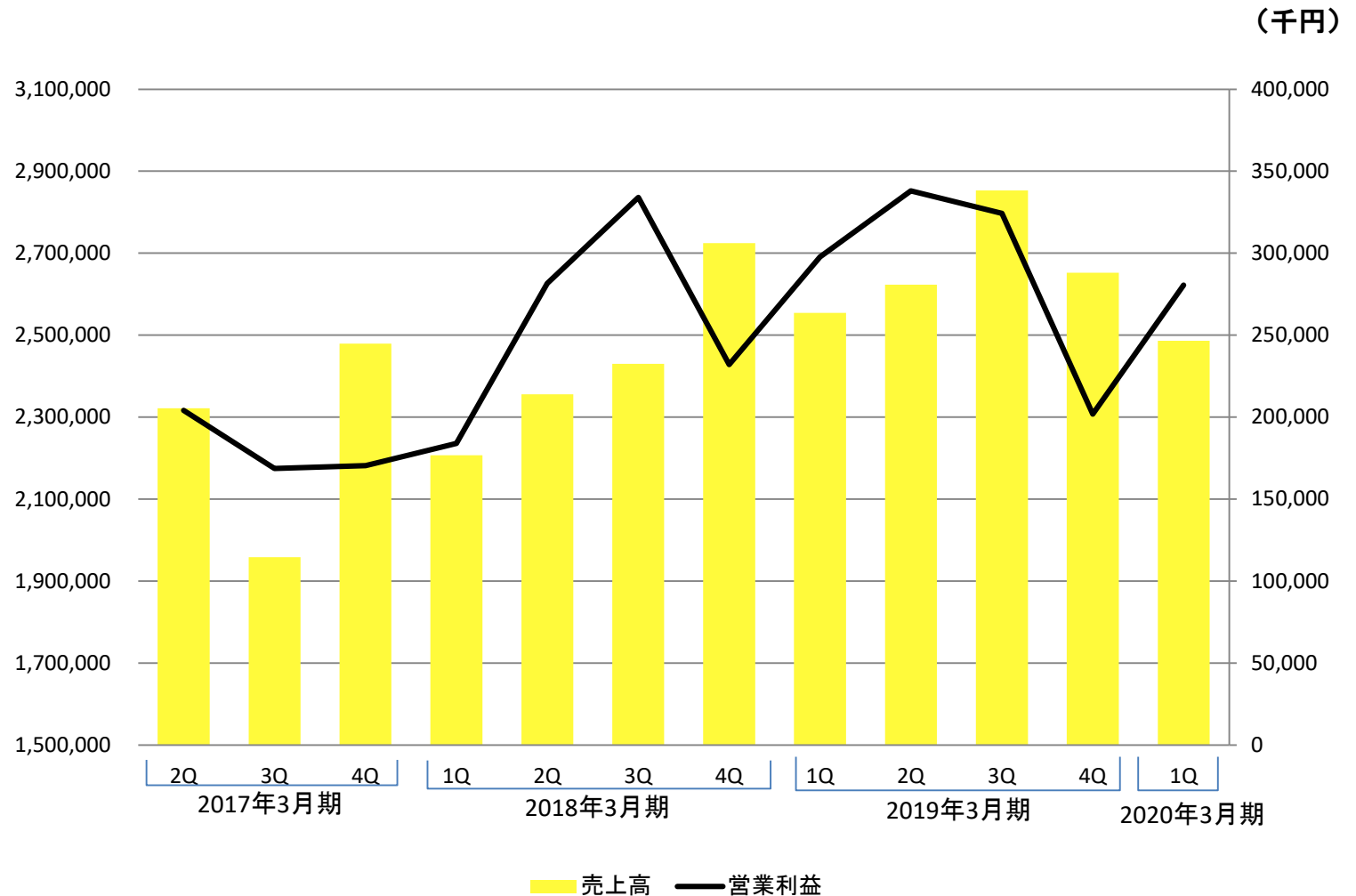
(単位：千円)

	2019年3月期1Q		2020年3月期1Q		対前年		対通期予算	
	実額	売上比	実額	売上比	増減額	増減率	予算	達成率
売上高	2,554,448		2,486,502		-67,946	-2.7%	10,100,000	24.6%
売上原価	1,902,244	74.5%	1,853,869	74.6%	-48,375	-2.5%	7,700,000	24.1%
販売費及び一般管理費	354,492	13.9%	352,201	14.2%	-2,290	-0.6%	1,450,000	24.3%
営業利益	297,711	11.7%	280,431	11.3%	-17,279	-5.8%	950,000	29.5%
経常利益	320,250	12.5%	322,962	13.0%	2,712	0.8%	980,000	33.0%
当期純利益	214,605	8.4%	217,641	8.8%	3,035	1.4%	680,000	32.0%

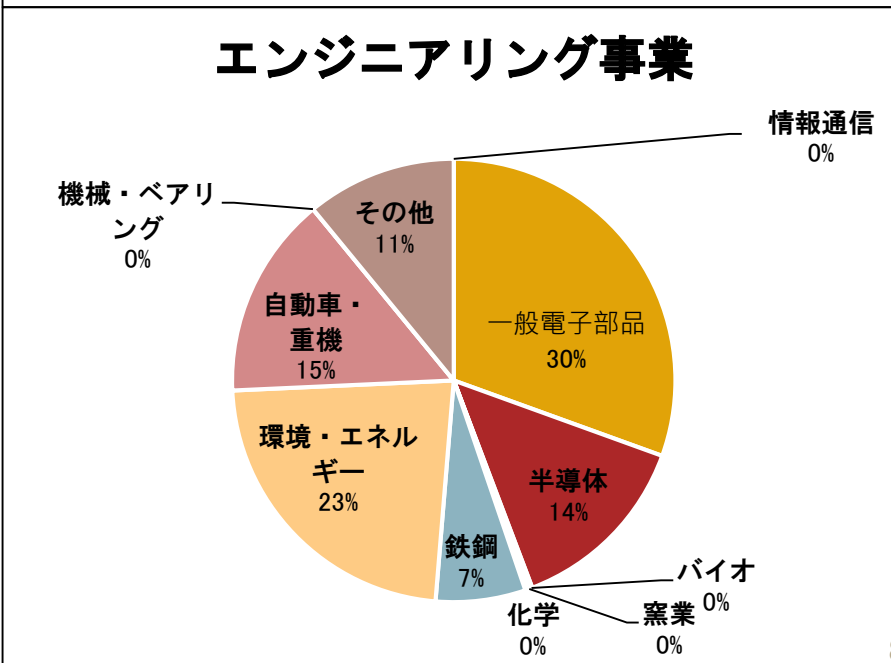
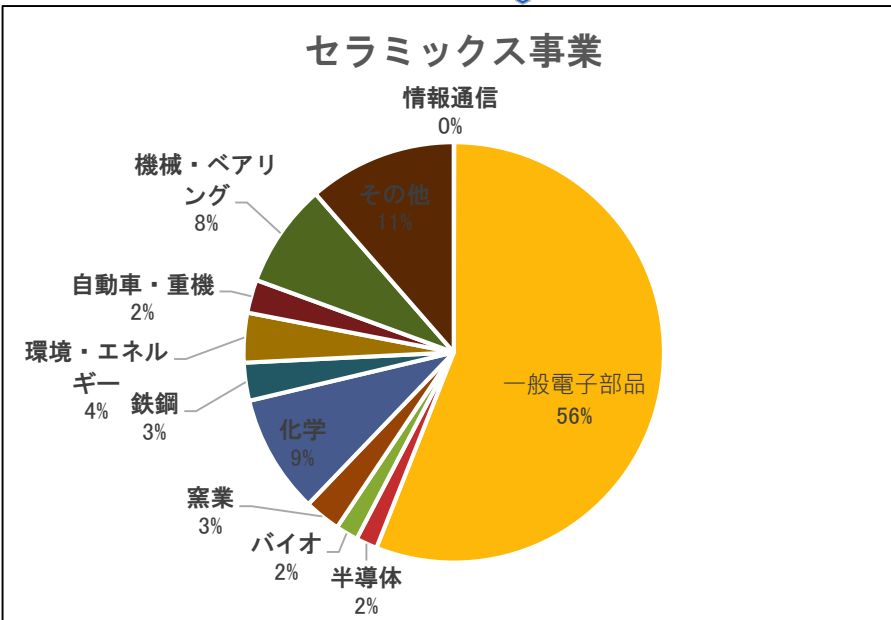
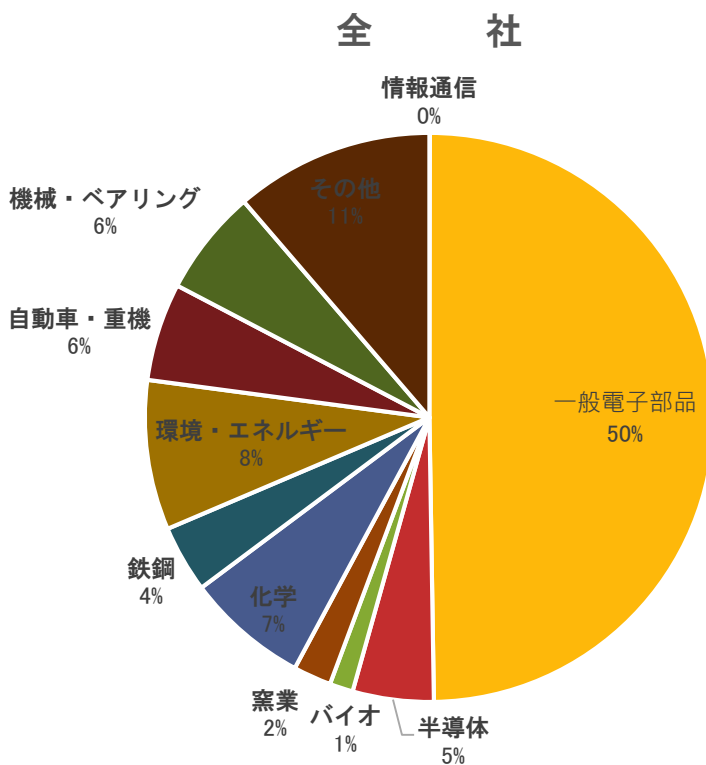
研究開発費	49,424	1.9%	50,673	2.0%	1,249	2.5%	-	-
EPS(円)	17.98	-	18.23	-	0.25	-	-	-
ROA (%)	5.8	-	5.8	-	0.0	-	-	-
ROE (%)	8.1	-	8.0	-	-0.1	-	-	-

※ROA・ROEの数値は第1四半期の実績数値を通期換算して計算しております。

売上高・営業利益推移（四半期毎）



マーケット別構成比



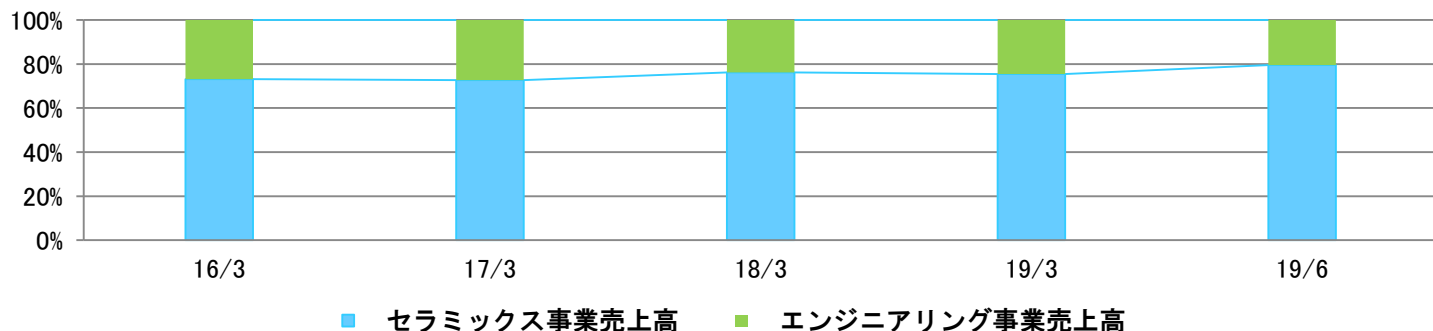
※マーケット別構成比は2019年3月期のデータを使用しております。

セグメント別業績

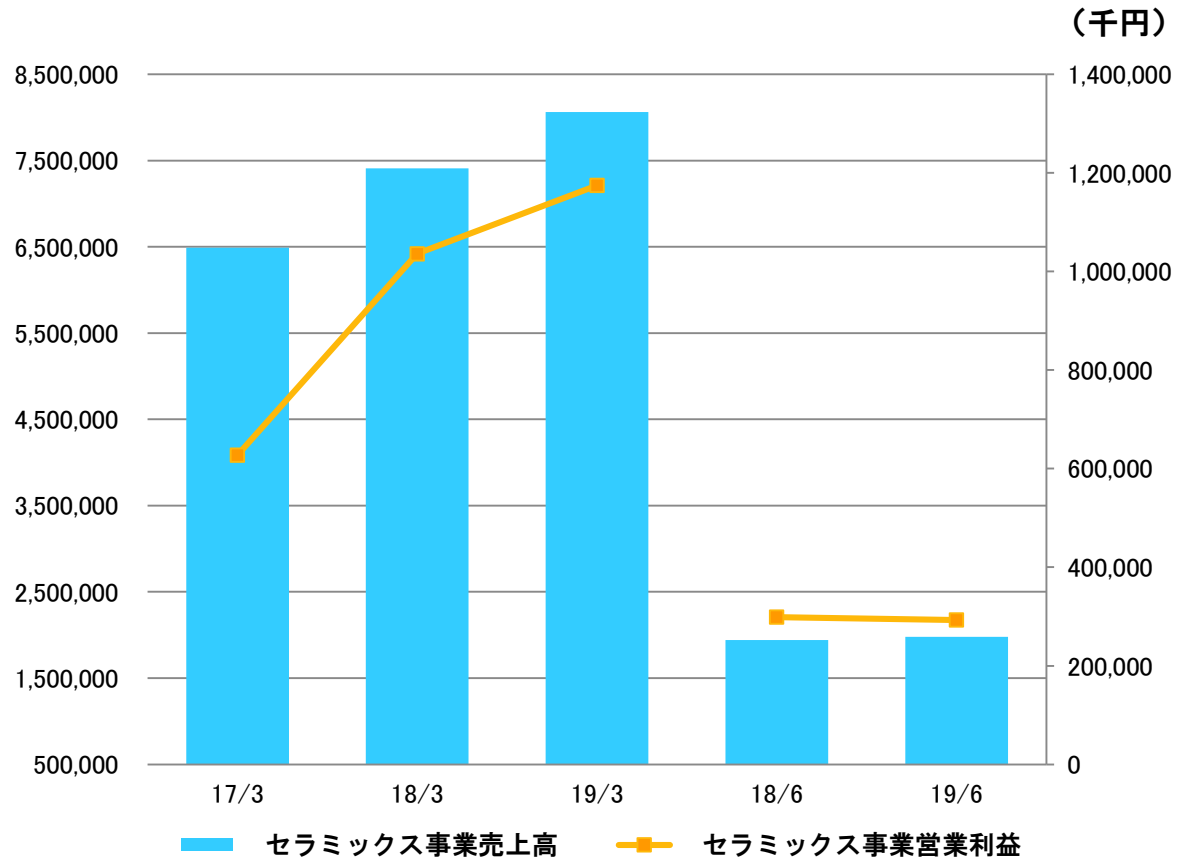
(千円)

	2019年3月期1Q		2020年3月期1Q		増減率
	金額	構成比	金額	構成比	
売上高	2,554,448	100.0%	2,486,502	100.0%	-2.7%
セラミックス事業					
機能性セラミックス	118,589	4.6%	136,495	5.5%	15.1%
耐摩耗セラミックス	1,248,269	48.9%	1,321,307	53.1%	5.9%
耐熱セラミックス	528,420	20.7%	466,903	18.8%	-11.6%
理化学用陶磁器他	46,464	1.8%	52,762	2.1%	13.6%
合 計	1,941,743	76.0%	1,977,468	79.5%	1.8%
エンジニアリング事業					
加熱装置	230,978	9.1%	84,308	3.4%	-63.5%
計測機器・同システム	381,726	14.9%	424,725	17.1%	11.3%
合 計	612,704	24.0%	509,034	20.5%	-16.9%
営業利益	297,711	-	280,431	-	-
セラミックス事業	299,004	-	292,959	-	-
エンジニアリング事業	- 1,293	-	- 12,527	-	-

売上構成比の推移

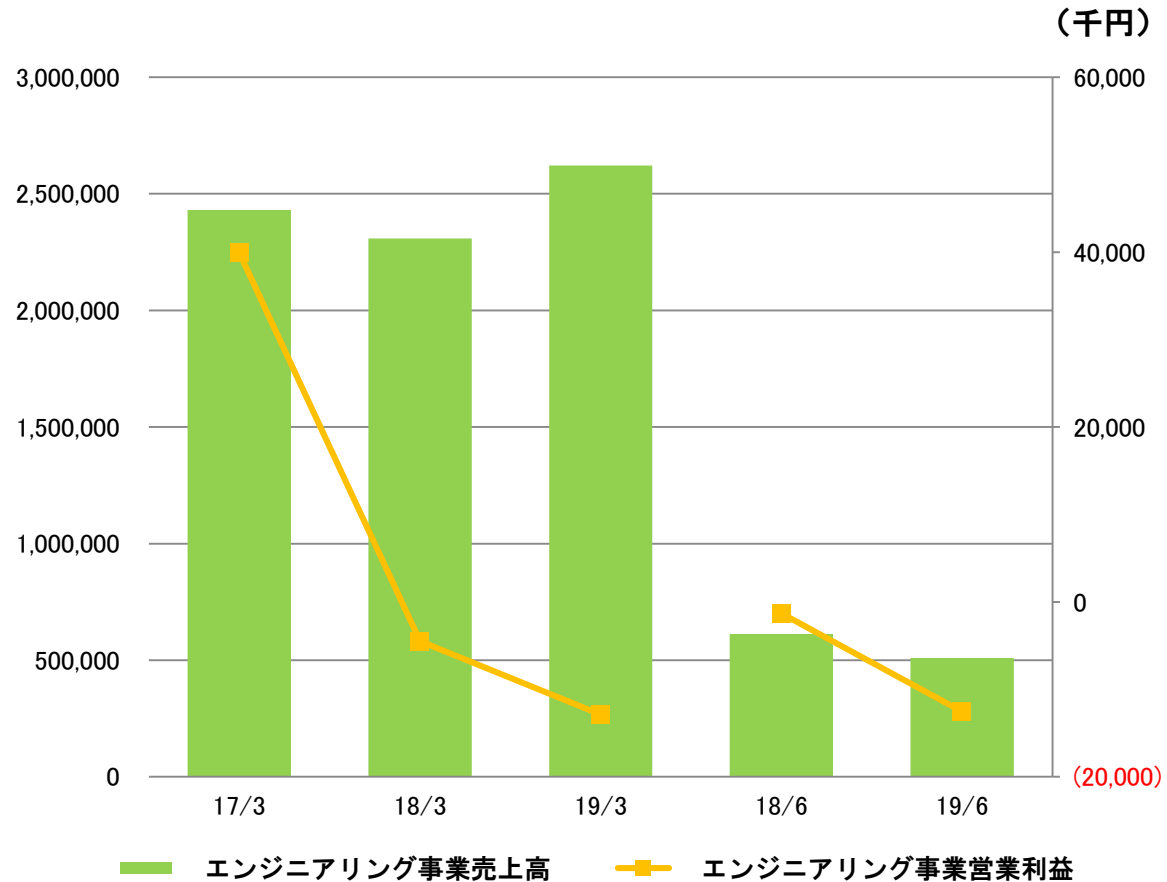


セラミックス事業



- ・ Y T Z ボール及びベアリング用ボール等の耐摩耗セラミックスは好調に推移。
- ・ Y T Z ボール新棟建設は、計画通り実施予定。

エンジニアリング事業



- 加熱装置等設備関連の動きが悪い。
- 組織体制を見直し効果は今後に期待。

貸借対照表

(千円)

	19/3末	19/6末	増減率
流動資産	9,135,719	8,790,639	△ 3.8%
現金預金	2,627,237	2,420,843	△ 7.9%
売掛債権	3,749,013	3,556,622	△ 5.1%
棚卸資産	2,625,438	2,785,022	6.1%
その他	134,029	28,150	△ 79.0%
固定資産	5,945,241	5,947,371	0.0%
有形固定資産	3,846,332	3,910,497	1.7%
無形固定資産	56,469	68,452	21.2%
投資その他	2,042,439	1,968,421	△ 3.6%
資産合計	15,080,961	14,738,010	△ 2.3%

- ・ 流動資産
 現金預金 棚卸資産の増加に伴い現金預金は減少
- ・ 固定資産
 投資その他 株価下落に伴う投資有価証券の評価減に伴い減少

	19/3末	19/6末	増減率
流動負債	3,824,618	3,420,138	△ 10.6%
買掛債務	1,958,648	1,804,015	△ 7.9%
短期借入金	450,696	432,000	△ 4.1%
その他	1,415,273	1,184,122	△ 16.3%
固定負債	367,406	386,898	5.3%
長期借入金	6,500	-	△ 100.0%
その他	360,906	386,898	7.2%
純資産	10,888,936	10,930,974	0.4%
株主資本	10,456,484	10,542,830	0.8%
評価・差額等	432,451	388,144	△ 10.2%
負債・純資産合計	15,080,961	14,738,010	△ 2.3%

- ・ 流動負債
 その他 各種引当金の減少に伴い減少
- ・ 固定負債
 その他 繰延税金負債の増加に伴い増加
- ・ 純資産
 評価・差額等 株価下落による評価差額金の減少により減少

キャッシュフロー計算書

(千円)

	18/3末	19/3末	増減金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	959,195	738,202	△ 220,992
税引前当期純利益	1,071,687	1,116,004	44,317
減価償却費	540,032	564,742	24,710
棚卸資産の増減額	△ 328,216	△ 481,790	△ 153,574
その他	△ 324,308	△ 460,754	△ 136,445
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 775,269	△ 501,175	274,093
有形固定資産の取得	△ 865,352	△ 625,633	239,718
その他	90,083	124,457	34,374
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 273,286	△ 392,473	△ 119,187
配当金の支払額	△ 191,033	△ 274,019	△ 82,985
その他	△ 82,252	△ 118,454	△ 36,202
現金等の増減額	△ 89,360	△ 155,446	△ 66,086
現金等の期末残高	2,782,684	2,627,237	△155,446

- ・ 営業CF
棚卸資産の増減額
在庫の増加
- ・ 投資CF
有形固定資産の取得
セラミックス事業設備投資
- ・ 財務CF
配当金の支払額
配当額16円→23円
- その他
借入金の返済による減少

※キャッシュフロー計算書は2019年3月期のデータを使用しております。

目次

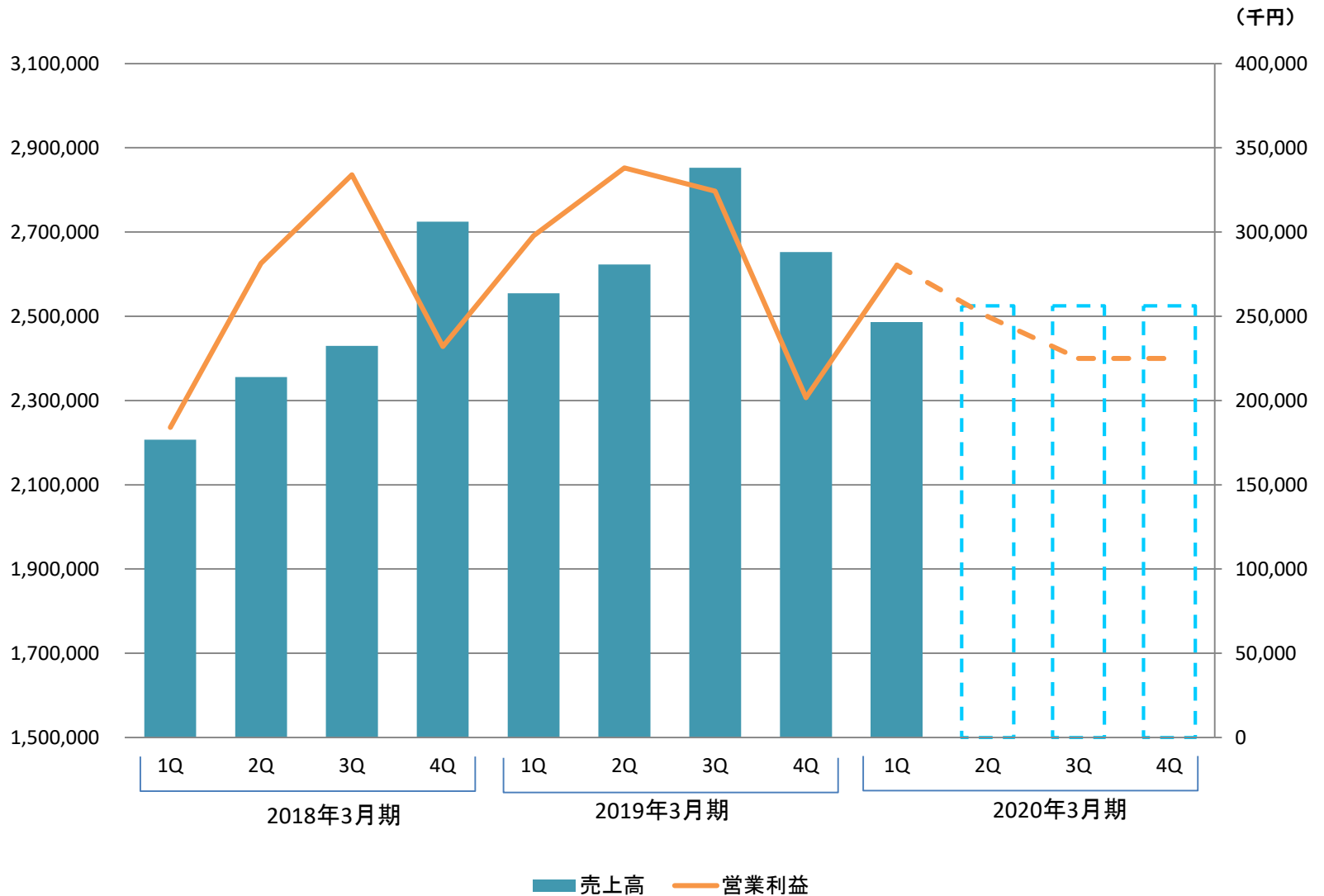
1. 中長期的な戦略について
2. 2020年3月期（第1Q）業績概要
- 3. 2020年3月期業績予想**
4. 事業トピックス

2020年3月期業績予想 (1)

(千円)

	第1四半期(予測)		第1四半期(実績)		対予測比	2020年3月期(予測)		対予測(通期)比
	金額	売上比	金額	売上比	達成率	金額	売上比	進捗率
売上高	2,525,000		2,486,502		98.5%	10,100,000		24.6%
売上原価	1,920,000	76.0%	1,853,869	74.6%	96.6%	7,700,000	76.2%	24.1%
販売費及び一般管理費	355,000	14.1%	352,201	14.2%	99.2%	1,450,000	14.4%	24.3%
営業利益	250,000	9.9%	280,431	11.3%	112.2%	950,000	9.4%	29.5%
経常利益	260,000	10.3%	322,962	13.0%	124.2%	980,000	9.7%	33.0%
当期純利益	180,000	7.1%	217,641	8.8%	120.9%	680,000	6.7%	32.0%

2020年3月期業績予想 (2)

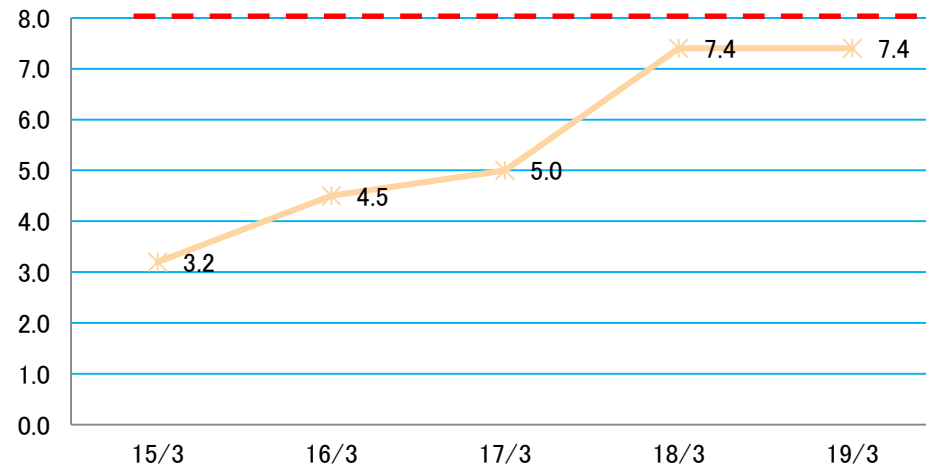


目標とする経営指標（1）

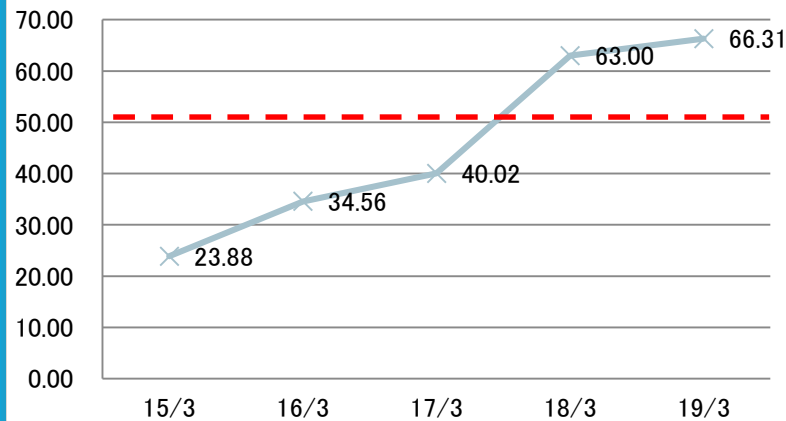
- ROE（自己資本当期純利益率）
→8%以上
- EPS（1株当たり当期純利益）
→50円以上
- 配当性向
→30%～50%

目標とする経営指標 (2)

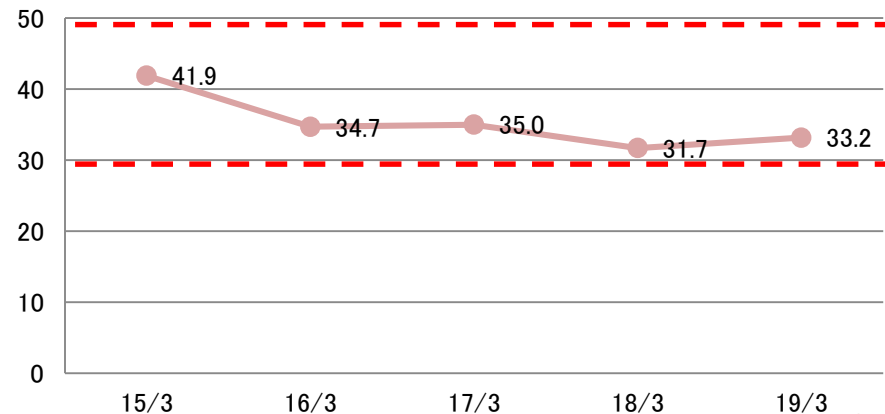
(過年度実績)
ROE (%)



EPS(円)



配当性向 (%)



目次

1. 中長期的な戦略について
2. 2020年3月期（第1Q）業績概要
3. 2020年3月期業績予想
- 4. 事業トピックス**

新規取扱商品について

高機能多孔質セラミックス『CeraFlow™』上市

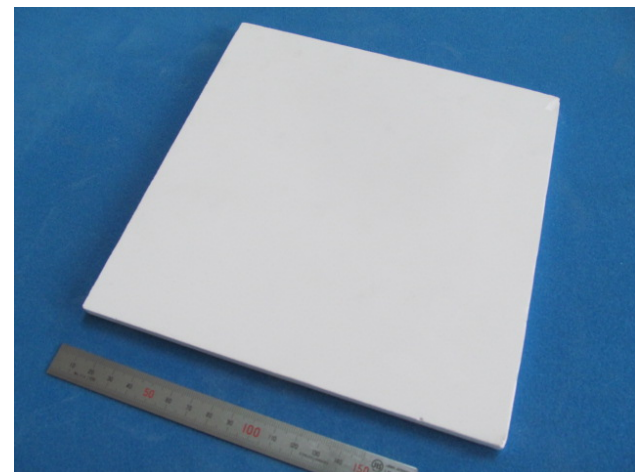
ニッカトーでは創業以来、理化学用陶磁器をはじめとした熱処理道具材を幅広く世に送り出してきました。近年ではIT関連製品の市場拡大とともに、アルミナ、ジルコニア、マグネシア等の熱処理容器・セッターの需要が高まっております。

なかでも、自動車の自動運転や安全性向上、次世代電池などのエネルギー関連分野においては、各ユーザーでの焼成技術も日々進化を続けており、使用される焼成道具材につきましても最新のユーザーニーズにマッチした商品開発が求められております。

当社におきましては、これまでに培われた優れた材料技術と、フィルター類で磨かれた孔径制御技術を生かし、昨年『CeraFlow™』を上市いたしました。その優れた材料特性から、全固体電池材料の熱処理用道具材等や、省エネ性を高めた熱処理道具材として注目されております。現在、従来品と共に今後の需要増加に備えた設備投資を進めており、熱処理道具材全体の売上高は、2022年度までに2017年度比1.5倍の伸び率を見込んでおります。



【高機能セラミックス展（東京ビッグサイト）】



【CeraFlow™ 外観】

（注）本資料に記載いたしております業績予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分にリスクや不確実な要素を含んでおります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。